

平成25年度第5回（第92回）役員会議事要旨

日 時 平成25年11月29日（金）15時50分から16時00分

場 所 ホテルニューオータニ長岡3階【桜】

出席者 新原学長、武藤理事・副学長、東理事・副学長、宮崎理事・事務局長、
三上副学長、中出副学長、斎藤副学長

陪席者 平山監事、滝上監事、伊藤附属図書館長

平成25年度第3回（第90回）、第4回（第91回）議事要旨について

学長から、平成25年度第3回、第4回議事要旨案について説明があり、案のとおり承認した。

審 議

1. 平成25年度予算の変更（案）について

宮崎理事・事務局長から、資料1に基づき説明及び学長から第57回経営協議会（平成25年11月29日開催）で了承を受けた旨の報告があり、審議の結果これを承認した。

2. 国立大学法人長岡技術科学大学業務達成基準取扱要領第2第1号の規定により業務達成基準を適用する業務について（案）

宮崎理事・事務局長から、資料2に基づき説明及び学長から第57回経営協議会（平成25年11月29日開催）で了承を受けた旨の報告があり、審議の結果これを承認した。

報 告

1. 平成24年度に係る業務の実績に関する評価結果について

武藤理事・副学長から、資料3に基づき報告があった。

2. 平成26年度概算要求（文部科学省要求内示）について

宮崎理事・事務局長から、資料4に基づき報告があった。

3. 平成24事業年度財務諸表の承認について

宮崎理事・事務局長から、資料5に基づき報告があった。

4. その他

① 平山監事から11月11日に開催された「私立大学の教育・研究充実に関する研究会」（一般財団法人私学研修福祉会主催）におけるパネルディスカッションにおいて、文部科学省に対して下記の意見を述べた旨発言があった。

・COC事業については、知の中核の自治体との連携に関して、選ばれた大学が地域の中核として役割を果たせる大学が選ばれているのか。例えば長岡大学と長岡市との連携など。長岡市を活性化したいのであれば長岡技大ともやっていないと意味がない。5年間で予算が打ち切られ本当に自治体が喜んで連携していくのか、文

科省だけでできるわけではなく、ほかの官庁と連合しなければならないはずで、事業目的自体がおかしいのではないかと。

- ・私立大学は、定員 50%を割ると今後は、経常費の補助金も 50%減らすこととなっており、後ろから国がプッシュするような姿勢となっている。その一方で地域の中核になれば文科省が言っているのは自己矛盾しておりそのような政策を出すのはおかしい。

- ・文科省から大学改革プラン、ミッション、年俸制などいろんなことが出されているが、国立大学協会も含め、各国立大学からそれらに対する抵抗感がなにも出ておらず、将来の高等教育のあり方として本当にいいと思っているのか疑問である。

- ・年俸制の問題は、年俸制にするかどうかというのは各大学が選択すればよいことで、文科省が年俸制にしろと言いう必要はない。

- ・国立大学が法人化されたのであるから、ある程度自由にしたうえで、活動しているかどうかは、評価の際にきちんとチェックして指導すればよいのではないかと考える。

② 新原学長より、これまで経営協議会と同一日に役員会を開催してきているが、役員会本来の役割が果たされているのかの観点から、次回からは日時を変えて開催を検討させていただく旨の報告があった。

以 上